

第38回京都府茶品評会審査会の運営を支援

茶の栽培・製造技術の改善による府内産茶の品質向上を目指して、京都府茶品評会審査会が、7月7、8日に宇治茶会館で開催され、当所職員が審査員及び審査補助の責任者を務めました。

本年は新型コロナウイルス感染症対応として感染リスクを低減するための審査方法を工夫するなど、例年とは異なる審査会となりました。

一番茶期の気象については、3月の高温により萌芽が早まったにも関わらず、その後の少雨や4月下旬の低温など、高品質の茶生産には難しい年となりました。さらに、新型コロナウイルス感染症により摘採人員の確保が難しくなるなど、生産者にとって苦勞の多い製茶期でしたが、上位の茶には品質の優れたものが揃っており、出品者の高い技術と努力が伺えました。

茶全体の市況が思わしくない状況下ですが、審査会で指摘された栽培、製造工程での改善点について、関係農業改良普及センターなどを通じて出品者に伝えるなど、生産技術向上を支援します。



左：審査員の距離を離して審査を実施



右：審査補助員も感染予防を徹底